

提言のポイント（委員長案）

1．国・県・市町・住民間の連携による川づくり

国の管理する直轄管理区間の境界を越えた流域の一体的な川づくりを国・県・市町・地域住民が連携して進める。

2．人、魚、木、虫、いきものすべてが憩える、楽しい、癒される川づくり

多くの人々が揖保川に集い、人といきものが共に憩える、楽しい、癒される川づくりを進める。

3．いつまでも川を見守る仕組みづくり

河川管理者と地域住民との双方向の情報交流を長期的な視点ですすめる。そのために、ポスト流域委員会とそれを支援する体制を整備すべきである。